



# 市議会だより

[http://www.city.shizuoka.jp/000\\_000260.html](http://www.city.shizuoka.jp/000_000260.html)



## 9月定例会のあらまし

### ～平成27年度歳入歳出決算を認定～

平成28年9月8日から10月12日までの35日間にわたって、9月定例会を開催しました。

定例会では、27年度決算に関して18件を認定に付したほか、津波避難タワー建設など災害から市民の生命を守る取組に要する経費、B型肝炎予防接種事業や介護ロボット導入支援など保健医療・福祉の充実に要する経費等の増額を計上した28年度一般会計補正予算(第2号)など20件の議案を審議し、1件の陳情を審査しました。

9月16日、20日、21日には、18名の議員が総括質問を行いました(2～3面掲載)。

10月12日の最終日には、9月26日から29日までの4日間開催した各常任委員会の審査結果が報告され(5面掲載)、表決の結果、すべての市長提出議案を全会一致または賛成多数で可決しました(6面掲載)。

## 9月定例会日程

9月8日(木)	本会議(開会)	会期決定 議案上程
9月16日(金) 20日(火)、21日(水)	本会議(総括質問)	市政全般について質問 委員会付託
9月26日(月)、27日(火) 28日(水)、29日(木)	常任委員会	議案等審査
10月12日(水)	本会議(閉会)	委員長報告、討論 表決

## 目次

9月定例会のあらまし	1面
総括質問	2～3面
主な議案など	4面
常任委員長報告など	5面
賛否一覧、次回定例会のお知らせなど	6面



### 静岡市のココが聞きたい

## 総括質問



平成28年9月16日、20日、21日の3日間、18人の議員が総括質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。

### 人口70万人の維持

**質問** 3次総では、「2025年に総人口70万人維持」を目標に掲げているが、現在の状況では達成は厳しいと感じている。今後もこの目標を掲げ続けていくのか。

**答弁** 世界に輝く静岡市を実現するため、あえて挑戦的な70万人という人口目標を明確に打ち出してきた。これは、単に達成を目指すだけでなく、背伸びしなければ届かない目標に向け、挑戦を続けることの大切さを示したシンボリックなものである。

現在、この高い目標のもと、局間連携を強化し、また、新たな官民連携の動きが芽生えており、人口減少と一緒に取り組もうとするうねりが生じている。

今後もこの目標を掲げ続け、人口減少問題に全力で取り組んでいく。

### 世界水準の自転車都市

**質問** 「世界水準の自転車都市」の実現に向けて、どのような姿勢で臨んでいくのか。

**答弁** 自転車を利用しやすい基盤を整備する「ハード」の施策、ルールやマナーを身につける仕組みをつくる「ソフト」の施策、市民の誰もが自転車の魅力を感じ楽しむ心を磨き上げる「マインド」の施策を充実させることが重要と考えている。

この3つの柱を掲げた静岡市自転車利用総合計画を平成27年3月に策定し、関係する12局3区25課が連携し、一体的に進めている。

今後も「自転車利用計画」に位置付けた施策を、積極的かつ着実に進め、「世界水準の自転車都市しずおか」の実現を目指していく。

### まちなかの魅力向上による賑わい創出

**質問** 3次総で掲げた目標、清水地区での「中心市街地の賑わいや魅力が増したと感じる市民の割合10%」の達成に向け、平成25年現状値7%をどう捉え、どう取り組むのか。

**答弁** 市としても、現在の市民意識に対し強い危機感を抱いている。

そこで、本年3月に策定した中心市街地活性化基本計画による取組をスタートさせた。これは全国初の「1計画2中心市街地」として、清水、静岡両地区の中心市街地の持つ資源や強みを生かし、施策を一体的に推進し、市全体の活性化を相乗的に図るものである。

清水地区の中心市街地では、港町の風情や文化に新たな魅力を加え、多彩でダイナミックな魅力に溢れたまちの実現に向け、官民一体となって盛り上げていく。



### バイスタンダーへのフォローアップ

**質問** 応急手当をしたバイスタンダーが要救助者の体液に触れたことや実施した処置などに不安を覚えるケースがあるが、本市では、どのようなフォローアップを考えているのか。

**答弁** 本市では、応急手当をしたバイスタンダーに対し、その場における怪我や血液付着の確認、傷病者の感染症などが判明した場合に備えた連絡先の聴取などのフォローを行っている。しかし、傷病者の手当や搬送を優先するため、バイスタンダーに十分な対応ができない場合もある。

このため、不安解消につながるよう、担当窓口の連絡先を記載したバイスタンダー向けカードの作成を検討している。

### 市職員の専門職採用

**質問** 学芸員や司書など専門性を要する分野について、専門職を採用する考えはあるか。

**答弁** 免許等を必要とするわけではないが、学芸員などの専門性が求められる業務については、スペシャリストの育成が必要と認識している。

しかし、質の高い行政運営のためには、こうした職員が様々な分野で経験を積むことにより幅広い視野を持ち、将来に渡ってマネジメント能力を発揮することが重要である。

このため、分野を限定した専門職の採用にこだわらず、採用後も様々な知識等を得ることができる一般事務職としての採用が望ましいと考えている。

今後も専門職採用のあり方について、ニーズを把握しながら検討していく。

### 第4次産業革命に対応した取組

**質問** 「日本再興戦略2016」で示された第4次産業革命に対応するIoT技術やロボット産業などについて、本市はどう取り組んでいるのか。

**答弁** 現在、IoT技術や産業ロボットの製造にノウハウがあり、工場等に機器を納品している市内企業、いわゆる「作る側」にヒアリングを行い、本市におけるIoT関連企業の技術力や、今後の動向の把握に努めている。

さらに、IoT機器や産業ロボットを導入し、生産ラインの改善を図る企業、いわゆる「使う側」にもヒアリングを実施し、ニーズを把握していく。

また、静岡商工会議所等とも連携し、本市の特性に合った施策を検討していく。

#### 語句説明

##### バイスタンダー

救急現場に居合わせた人(発見者、同伴者等)。

#### 語句説明

##### IoT(アイオーティー)

Internet of Things(インターネットオブシングス)の略。

あらゆるものがインターネットとつながる仕組み。これにより、迅速かつ正確な情報収集やリアルタイムな機器・システムの制御、新しいサービスの提供などが期待されている。

### 国民健康保険(国保)

**質問** 国保事業会計の今後の見通しと、29年度の国保料引下げの可能性を問う。

**答弁** 高額薬剤の新たな保険適用や被保険者の高齢化、医療技術の高度化などにより、医療費の更なる増加が見込まれている。

そのため、今後も安定的な財政運営を目指し、保険料収納率の向上に努めるとともに、ジェネリック医薬品の使用促進、生活習慣病予防につながる特定健康診査受診率や特定保健指導率の向上、さらに糖尿病予備軍を対象とする宿泊型糖尿病予防教室の実施等により、医療費の適正化に努めていく。

また、29年度の国保料については、今後の医療費の動向などを注視し、より精度の高い国保財政の推計を行い、国保運営協議会に諮り決定していく。

### 市立こども園の配置適正化

**質問** 配置適正化方針では、市立こども園を将来的に各区域1、2園程度にするとしているが、市立こども園の増設こそ、子育てしやすいまちづくりと考えるがどうか。

**答弁** 民間の園には、これまでの実績から、今後も効果的なサービスの提供が期待できる。

一方、市立園には、民間だけでは対応が難しいニーズへの対応や民間の取組の支援、山間地など民間の参入が見込まれない地域への対応が求められている。

配置適正化は、市立園の役割を果たすために必要な体制を確保した上で、民間活力を生かし、多様化する子ども・子育て支援のニーズに対応することにより、子どもをより産み育てやすいまちの実現を目指すものである。

### 性的マイノリティ

**質問** 性的マイノリティ当事者の抱える課題をどう認識し、同性パートナーシップに関する条例等についてどう受け止めているのか。

**答弁** 国においてもこうした性的指向や性同一性障害が人権課題として挙げられ、また、市民意識調査によると市民の関心も高まっていることから、今後向き合っていかなければならないものと認識している。

本市では3次総のもと「共生」をキーワードにあらゆる人々が国籍、文化、性別、障害の有無や性的マイノリティなどあらゆる多様性や個性を互いに認め合い、誰もが自己実現できる世界水準のまちを目指している。

一方、条例等に関しては、十分な議論が必要と考えており、当面は「共生」を目指す大きな流れの中で先行事例を見守っていく。



## 市道閑蔵線

**質問** 南アルプスユネスコエコパーク移行地域の道路として市道閑蔵線をどう位置付けているのか。

**答弁** 閑蔵線は井川地区の生活道路であるとともに、本市と川根本町の広域連携を強化し、観光振興や災害時にも重要な役割を担う道路である。このため、22年度から本格的に拡幅整備に着手した。また、26年度策定の「保全と活用」の推進を目的とした南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画では、富士山静岡空港、新東名、大井川鐵道を生かした来訪者の周遊性向上と地域の安心・安全を確保するため、閑蔵線拡幅等の整備を位置付けている。今後も、管理運営計画の理念に基づき、積極的に事業の推進を図っていく。

### 語句説明

#### 新型たばこ

電気器具とたばこ葉またはたばこ葉を加工したものを組み合わせ、燃焼させずに電気の加熱により発生した霧状のニコチンを吸引する新しいタイプのたばこ製品(電気加熱式たばこ)。

### 語句説明

#### 移行地域

核心地域、緩衝地域、移行地域の3つで構成されている。移行地域とは、自然環境と調和した農林業や歴史文化を生かした諸活動など、人が暮らしを営んでいる地域。

## 新型たばこの路上喫煙被害防止条例での取扱い

**質問** 自治体により対応が異なることでメディアにも取り上げられた「新型たばこ」の取扱いについて、その考え方を問う。

**答弁** 本市条例は、路上喫煙により、他人にやけどを負わせることや他人の衣服を焦がすこと、他人のたばこの煙による健康被害を防止することを目的に、火を着けて吸うたばこを指導の対象としている。このため、現段階では「火を使わず、煙も出ない新型たばこ」は指導の対象としていない。ただし、路上喫煙禁止地区で「新型たばこ」を喫煙することは、通常のたばこによる路上喫煙を誘発する恐れがあるため、使用を控えるようお願いしている。

## 三保松原保全ボードウォーク整備事業

**質問** ボードウォーク整備事業が中断に至った経緯と今後の方向性を問う。

**答弁** 昨年度、実施設計を行い、本年5月上旬から工事着手する予定だったが、県や地元の一部から「羽衣の松」への影響を懸念する意見があり、万全を期すため工事着工を一時中止し、現在まで検討を進めている。

ボードウォークの設計に当たり、来訪者の踏圧防止による松の保全と、バリアフリー化などの利便性の両立を考慮し、利用者の人数や動線も調査した上で、構造、材質、ルートや規模を決定した。

ボードウォークは必要と考えており、地元や県とともにルートや規模、構造について、さらに協議を行った上で見直しを行い、工事着手につなげていく予定である。

## 中山間地における水の安定供給

**質問** 公営企業管理者の管轄区域外の中山間地における水の安定供給についてどのように考えているのか。

**答弁** 全ての市民が快適で豊かな生活を送るために水の安定供給体制を確保することは、市民の安心・安全な暮らしを守ることにつながる重要な使命であると考えている。

本市の中山間地域では、個人や地域住民が共同で自ら飲料水の供給施設を設置し水を確保してきた。しかし、施設の老朽化と住民の高齢化により、維持管理もままならない状況になっている施設もある。

このため、まずは関係部署による庁内検討会議を設け、現在の民間の簡易水道、飲料水供給施設の実情を早急に把握し、行政としての具体的支援策を検討していく。

## アセットマネジメント

**質問** 公共施設の削減・再編は、施設の在り方、果たす役割などを十分に検討し、コストカットだけでなく、住民の利益福祉を第一に考えるべきである。この立場から住民参加と住民合意をどのように進めていくのか。

**答弁** 市民向け講演会を開催するなど継続的にアセットマネジメントの啓発に努め、市の将来像を市民の皆さんとともに考えていく。

さらに、個別施設の統廃合や民営化などの議論をしていく際には、客観的データを分析するとともに、施設利用者や周辺住民をはじめ関係者などへ広く情報提供を行い、市民ワークショップを開催するなど、十分に協議を重ね、慎重かつ丁寧に取り組んでいく。

## 清水天然ガス発電所排気ガスの影響

**質問** 発電所の稼働に伴う周辺マンション等に対する排気ガスの影響を、市はどのように考えているか。

**答弁** 環境影響評価方法書の市長意見で、事業の実施想定地域周辺の高層住宅は、特定の条件下で強い影響を受ける可能性があるため、これらの影響も評価した上で、適切な環境保全措置を検討することを求めた。

現在、窒素酸化物などの大気質や、二酸化炭素などの温室効果ガスの環境影響評価について、事業者が環境影響評価法に基づき調査、予測及び評価を行っている。

これら調査、予測及び評価の結果等が次の環境影響評価準備書の中でどのように示されるか、また、適切な環境保全措置の検討がなされているかを注視していく。

## 市の危機管理意識

**質問** 全国的に医療機関が高台移転している中、津波浸水想定区域内にある清水庁舎を病院移転候補地として情報提供したことに市の危機管理意識が問われると考えるがどうか。

**答弁** 移転先は、地形やまちの成り立ちなどに加え、病院の経営、市民の利便性、さらには建築工法の進歩など様々な要素を踏まえて判断するものと考えている。

清水庁舎については、危機管理の観点も十分に考慮した上で対応可能であると判断した。

清水庁舎に移転決定した際には、建物の耐震化や耐浪化、非常用発電機の上層階設置等をJCHOに求めるほか、市としては津波避難計画や医療救護計画の見直し等を行い、併せて、防潮堤の早期整備を県に要請する。

### 語句説明

#### アセットマネジメント

計画的な修繕や適切な維持管理による公共施設の延命化、統廃合などによる資産総量の抑制などにより、将来負担の軽減を図り、都市経営上の健全性を維持していく手法。

### 語句説明

#### JCHO(ジェイコー)

桜ヶ丘病院を運営する独立行政法人地域医療機能推進機構の略称。

### 語句説明

#### 環境影響評価方法書

事業者が作成する、環境アセスメント(環境影響評価)の手続きの中で、これから行う調査、予測及び評価の項目や手法を記載した図書。

#### 環境影響評価準備書

調査、予測及び評価の結果等を記載した図書。

## 桜ヶ丘病院移転候補地

**質問** 巨大地震による津波浸水や液状化の恐れがあるにもかかわらず、なぜ清水庁舎を桜ヶ丘病院の移転候補地とすることにこだわったのか。

**答弁** 清水庁舎は津波浸水想定区域内ではあるが、土地の高上げや建物の1階を駐車場にするなどの津波対策を講ずることにより、病院としての機能を十分に果たすことができる場所である。

また、市民の利便性が高く、病院経営が成り立つ場所でもある。

さらに、コンパクトで高齢者にやさしいまちづくりなどにも寄与する場所と考えられるため、候補地の一つとした。

## 清水庁舎の移転候補地と庁舎機能

**質問** 桜ヶ丘病院の移転候補地の一つとして清水庁舎をJCHOに提示したが、庁舎の移転先や機能について、どう検討をしているのか。

**答弁** 桜ヶ丘病院移転にかかわらず、現清水庁舎は老朽化対策が必要である。このため「改修」「建替」「移転」等の方法や、それぞれの事業コストなどの課題を検討し、結論を出していく。

仮に移転するとした場合には、多様な都市機能が既に集積している「清水都心地区」が適地と考えられ、市有地であるJR清水駅東口公園もその候補地の一つである。

また、清水区の特性を十分考慮するとともに、多様化する行政ニーズに対応し、行政サービスが低下しないよう本庁機能のあり方を含め、庁舎機能を検討していく。



# 主な議案

9月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです

## 27年度決算

### ○一般会計

前年度に比べて、歳入が46億3,758万円、歳出が54億3,706万円の増額となりました。

(単位：千円、%)

	平成27年度決算額A	平成26年度決算額B	増減額A-B	増減率
歳入 ①	285,808,473	281,170,893	4,637,580	1.6
歳出 ②	279,104,100	273,667,037	5,437,062	2.0
差引 ③=①-②	6,704,373	7,503,855	△799,482	△10.7
翌年度へ繰り越すべき財源 ④	2,497,016	3,544,081	△1,047,065	△29.5
実質収支 ③-④	4,207,357	3,959,774	247,582	6.3

※表中の金額は、千円未満を切り捨てているため、差引等が一致しない場合がある。

### ○公営企業会計

各公営企業会計の決算額は、下表のとおりです。

(単位：千円)

	病院事業会計	水道事業会計	下水道事業会計
経常収益 ①	33,801,755	9,812,389	21,469,415
経常費用 ②	33,686,988	8,352,659	20,037,117
経常損益 ③=①-②	114,766	1,459,729	1,432,297
①のうち一般会計補助金 ④	2,250,000	-	-
実質損益 ③-④	△2,135,233	1,459,729	1,432,297

※表中の金額は、千円未満を切り捨てているため、差引等が一致しない場合がある。

## 補正予算

### ○平成28年度静岡市一般会計補正予算(第2号)

今回の補正予算は、「安心・安全なまちづくり」等の経費のほか、財政調整基金積立金を10億円計上しました。津波避難施設の整備等、「災害から市民の生命を守る取組」と予防接種事業の拡充等、「保健医療・福祉の充実」とに重点をおいた予算編成となりました。この結果、補正予算の総額は、14億9,201万円の増額となりました。

この補正額を加えた累計予算額は、2,860億7,707万円です。

## 医療費控除の特例の創設

### ○静岡市税条例等の一部改正について

地方税法等の一部を改正する法律の施行等に伴い、個人市民税に係る医療費控除の特例の創設等、所要の改正をするものです。

## 民生委員定数

### ○静岡市民生委員の定数に関する条例の一部改正について

民生委員の一斉改選に伴い、民生委員の定数を1,181人から1,189人に変更するため、所要の改正をするものです。

## 指定管理者

### ○静岡市資源循環啓発施設条例の一部改正について

資源循環啓発施設(しずもーる沼上及びしずもーる西ヶ谷)に指定管理者制度を導入するため、所要の改正をするものです。

# 静岡市議会ホームページ 議会中継画面をリニューアルしました

これまでのパソコンに加え、9月1日からスマートフォンやタブレットからもご覧いただくことができるようになりました。これを機に、市議会ホームページ 議会中継画面も、皆さんにより便利にご覧いただくため、新たに条件検索機能を追加するなどリニューアルしました。

## 静岡市議会ホームページ 議会中継画面

[http://www.city.shizuoka.jp/000\\_000269.html](http://www.city.shizuoka.jp/000_000269.html)



### A 会議名から選ぶ

ご覧になりたい会議名を選択すると、会議内容が表示されます。



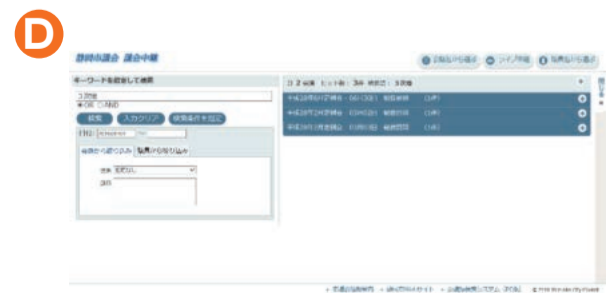
### B ライブ中継

本会議をリアルタイムで開催している際は、生中継をご覧いただくことができます。



### C 議員名から選ぶ

ご覧になりたい議員を選択すると、その議員が総括質問を行った会議、質問内容が表示されます。



### D 条件検索

キーワードからご覧になりたい映像を検索し、さらに会派や議員名で検索結果を絞り込むことができます。



# 常任委員長報告

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの常任委員長が報告しました。各常任委員長報告における委員の意見や要望の主なものは次のとおりです。

## 総務委員会

- \*業務改善制度について、民間企業で行われているQCサークル活動等を参考にして進めること。
- \*公衆無線LAN事業の推進について、訪日外国人旅行者数の増加等も見据え、優先エリアの設定など、計画的に整備を進めること。
- \*防災情報伝達システム構築事業について、情報伝達手段の多重化など、緊急情報が市民に確実に伝わるシステムの構築に取り組むこと。
- \*津波避難タワーの整備について、周囲の景観に配慮するとともに、いまだ避難が困難とされる33地区における津波避難ビルの指定なども併せて実施し、避難困難の解消に努めること。
- \*第3次総合計画の推進に当たっては、市民ニーズや国の動向等を的確にとらえて柔軟に政策へ反映させるなど、さらなる推進に向けて努力すること。
- \*人口減少対策のため、本市の魅力や優位性を大いにアピールし、一人でも多くの移住につながるよう、積極的に移住支援業務を進めること。
- \*納税意識の高揚に向け、租税教育の充実に加え、社会人の税への理解を促すための制度を知る機会の拡大を検討するなど、引き続き、**税務広報**に努めること。
- \***静岡市税条例の一部改正**の内容が納税者に伝わるよう、医療費控除などの改正点の周知・広報に努めること。

## 観光文化経済委員会

- \*企業誘致及び企業立地は、雇用創出や人口維持に結びつく効果が大きいので、市役所一丸となり**企業立地用地の確保**を進めること。
- \*地場産業の後継者を育成し新規就業者の育成を図る**クラフトマンサポート事業**の効果を高めるためには、地域に利益をもたらす持続可能な仕組みが必要であるため、業界との情報共有や連携を強化し、確実にこれを推進すること。
- \***オクスズ**には、神楽などの伝統芸能を始め、地域固有の在来作物など地域の誇りとなる魅力的なコンテンツがあるので、それらを十分に活用し、積極的に情報発信すること。また、それにより、地域の文化的かつ経済的な振興を図り、移住の促進、集落の維持存続へとつなげること。
- \***MICE誘致**については、東京オリンピック・パラリンピックホストタウンなど、様々な分野での積極的な情報収集や誘致活動に取り組むこと。
- \*外国人観光客の宿泊を促す方策として、日本夜景遺産に登録された日本平や初夏のホタル観賞、日本平動物園のナイトZOOなど**夜の観光ルート**を検討すること。
- \***三保松原**は、引き続き松枯れ防除に取り組み、被害木の伐倒駆除本数の削減に努めること。また、ボードウォークについては、地元や県とともにルートや規模、構造についての協議を重ね、早期に整備すること。
- \***駿府城天守台の発掘事業**は、重要な観光資産であるため、集客のための様々な仕掛けを工夫し、歴史文化都市への気運を盛り上げること。

## 企業消防委員会

- \***災害時における機能**として、上下水道局の新庁舎の建設により、ハード面強化ができたので、今後は、市民への情報提供等のソフト面の充実を求める。
- \***上下水道の設備**について、現在、南海トラフ巨大地震に備え使用している管の強度などのデータを後世の見直しの参考になるよう残すこと。
- \***カラーガード隊の導入**により消防団活動のPRや団員の増員が期待できるので、活動内容をしっかりと検討し、成果を市民に報告すること。また、小学校や自治会の運動会での消防団活動の披露などをとおし**団員の更なる確保**に努めること。

## 市民環境教育委員会

- \*市民との協働事業を進める中で、葵区及び清水区に続き、駿河区への**市民活動センターの設置**について検討すること。
- \***市民相談**にあたっては、相談者の実態や傾向をつかみ、各区の生活支援課等と連携すること。
- \***生涯学習交流館**は、指定管理者による運営であっても、市民サービスを落とすことのないようにすること。
- \***家庭ごみの減量及び資源化**のため、市民に対して分別の徹底を働きかけ、さらなるごみの減量及び資源化についての市民理解の醸成に努めること。
- \***小中一貫教育**について、教員の負担軽減につながるカリキュラムを作成するとともに、施策の目的を保護者や地域に対し丁寧に周知していくこと。
- \*児童生徒を取り巻く環境の変化により生ずる子どもの貧困や健康など課題の解決に向けて、**スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、教育相談員の増強や効率的な配置**に取り組むこと。
- \***住居表示区域**の追加について、自治会と地元の意見を十分に取り入れ、住民が納得できるように住居表示を実施すること。

## 都市建設委員会

- \***江川町交差点**では、歩行者の東西方向の平面横断が実現したが、周辺道路の渋滞対策等の課題の解消も含め、完全平面横断に向けた検討を行うこと。
- \***バス路線の維持**は、中山間地等に住む高齢者等、いわゆる交通弱者にとって非常に重要であるので、採算性などの課題もあるが、地域住民の声も参考に、事業を推進すること。
- \***大浜公園プール**は、子どもや家族連れなどが多く利用しているので、洋式トイレへの改修を含めた老朽化対策及び駐車対策を行うこと。
- \***電線等の地中化**は、多額の経費を要するものではあるが、緊急輸送路確保といった防災対策、景観向上といった観光振興の観点からも大変意味のある事業であるので整備に努めること。
- \***河川の氾濫**を防止するため、県管理河川であっても、堆積土の除去を市が行えるよう検討すること。
- \*各種事業に関連して、過去と比較して、繰越額が多くなっている傾向があるので、**繰越額の縮減**に向けて努力すること。さらに、様々な問題により工事が遅れる場合は、完成を待っている方々に向けて、早期の情報提供を行うこと。

## 厚生委員会

- \***介護ロボット等導入支援特別事業費助成**について、介護ロボットは労働環境の改善などさまざまな可能性がある一方で、課題もあるので、介護現場の声を十分に聞いて事業展開をすること。
- \*医療、介護、予防、生活支援のサービスが一体的に提供される**静岡型地域包括ケアシステム**を構築するに当たっては、静岡市の特徴を生かし、幅広い視点で施策を展開すること。
- \*元気な高齢者が健やかに自宅で過ごせるような施策を進めるとともに、中山間地域では特に高齢化が著しいので、**地域のニーズにあわせた福祉施策**に取り組むこと。
- \*保育ニーズは今後も増大すると思われるので、民間事業者や地域社会と連携して**待機児童ゼロ**を目指すこと。
- \***放課後児童クラブ**について、各学校や教育委員会とも協力して学校施設を有効活用し、環境整備に努めること。また、待機児童解消と開設時間延長等を確実に進めること。
- \***母子家庭の支援や子供の貧困、虐待への対応**などについて、支援を求めている人たちに寄り添ったきめ細かな対応に努めること。

## 第11回全国市議会議長会研究フォーラムが開催されました。

平成28年10月19日(水)、20日(木)の2日間にわたって、全国市議会議長会研究フォーラムin静岡が開催されました。全国から、約2,500名の市議会議員が集い、「議会における監視権」についての研究が行われました。

フォーラムでは、東京大学名誉教授の大森彌氏による基調講演「二元代表制と議会の監視機能」、パネルディスカッション「監視権の活用による議会改革」、課題討議「監視権をいかに行使すべきか」などが行われました。パネルディスカッションでは、パネリストとして登壇した栗田裕之議長が本市議会の取組を全国に向けて紹介しました。



## 陳情審査結果

提出された陳情	介護保険制度における軽度者への福祉用具貸与・住宅改修継続に関する意見書の提出を求める陳情	採択
---------	--	----



# 9月定例会提出議案の会派別賛否一覧

9月定例会で審議した市長提出議案34件、議員提出議案4件の審議結果は、次のとおりです。

(○=賛成、×=反対)

件名	会派名							議決結果
	自民党	志政会	公明党	共産党	維新	山と町	緑の党	
一般会計	○	○	○	×	○	○	×	認定
電気事業経営記念基金会計	○	○	○	○	○	○	○	認定
土地区画整理清算金会計	○	○	○	○	○	○	○	認定
母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計	○	○	○	○	○	○	○	認定
公債管理事業会計	○	○	○	○	○	○	○	認定
競輪事業会計	○	○	○	○	○	○	○	認定
国民健康保険事業会計	○	○	○	○	○	○	○	認定
簡易水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	認定
農業集落排水事業会計	○	○	○	○	○	○	○	認定
清掃工場発電事業会計	○	○	○	○	○	○	○	認定
駐車場事業会計	○	○	○	○	○	○	○	認定
介護保険事業会計	○	○	○	×	○	○	○	認定
介護保険サービス会計	○	○	○	○	○	○	○	認定
中央卸売市場事業会計	○	○	○	○	○	○	○	認定
後期高齢者医療事業会計	○	○	○	○	○	○	○	認定
病院事業会計	○	○	○	×	○	○	○	認定
水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	認定
下水道事業会計	○	○	○	×	○	○	○	認定
一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	×	可決
国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市女性会館条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市民生委員の定数に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	可決
静岡市資源循環啓発施設条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	可決
その他の議案	○	○	○	○	○	○	○	可決
市道路線の変更について(清水工業高校線)	○	○	○	○	○	○	○	可決
市道路線の認定について(国吉田六丁目16号線、鎌田配水場前線、池田27号線、八坂東一丁目6号線、八坂東一丁目7号線)	○	○	○	○	○	○	○	可決
住居表示の実施のための区域の追加について(長田地区)	○	○	○	○	○	○	○	可決
字の区域の変更について	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度静岡市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度静岡市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事案件	○	○	○	○	○	○	○	賛成
議員提出議案	○	○	○	○	○	○	○	可決
住宅を活用した宿泊サービスの提供に関する新法制定についての意見書	○	○	○	○	○	○	○	可決
次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険の財政支援拡充策の確実な実施を求める意見書	×	×	×	○	×	×	○	否決
介護保険に関する意見書	×	×	×	○	×	○	○	否決

自民党=自由民主党静岡市議会議員団(20人)、志政会(12人)、公明党=公明党静岡市議会(6人)、共産党=日本共産党静岡市議会議員団(5人)、維新=日本維新の会静岡市議会議員団(2人)、山と町=「山と町」安全の会(1人)、緑の党=緑の党 Greens Japan(1人)

## = 静岡市議会議員からのお願い =

公職選挙法の規定により、議員が年賀状などのあいさつ状を出すことは制限されています(答礼のための自筆によるものは除く。)。そのため、年末年始のごあいさつは失礼させていただきます。

また、同法では、議員がお中元やお歳暮、地域行事への寄付や差し入れなどを行う行為も禁止されています。皆さまのご理解をいただきますようお願い申し上げます。

## 次号のお知らせ

次号「しずおか市議会だより(平成28年11月定例会号)」は平成29年2月1日発行予定です。

## 本会議中継のお知らせ

### インターネット

生中継(LIVE)・録画中継(VOD)をご覧ください。  
[http://www.city.shizuoka.jp/000\\_000269.html](http://www.city.shizuoka.jp/000_000269.html)

### 地域FMラジオ

本会議(総括質問)のダイジェスト版を放送  
 エフエムしみず(マリンパル)76.3MHz  
 シティエフエム静岡(FM-Hi!)76.9MHz

市民の皆さんに親しまれる市議会だよりを目指しています。お気軽にご意見・ご感想をお寄せください。

**静岡市議会事務局** 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号  
 議会総務課 TEL 221-1158  
 議事課 TEL 221-1159  
 調査法制課 TEL 221-1481  
 (編集元) FAX 251-9213

静岡市議会ホームページアドレス  
[http://www.city.shizuoka.jp/000\\_000260.html](http://www.city.shizuoka.jp/000_000260.html)

静岡市議会

## 次回定例会のお知らせ

11月定例会は、11月21日からはじまります。  
 日程は次のとおりです。 会期 23日間

開会日	会議名	場所
11月9日(水)	議会運営委員会	第2委員会室
14日(月)	議案説明会	議場
11月21日(月)	本会議	議場
28日(月)	議会運営委員会	第2委員会室
30日(水)	本会議(総括質問)	議場
12月1日(木)	本会議(総括質問)	議場
2日(金)	本会議(総括質問)	議場
6日(火)	総務委員会 企業消防委員会 市民環境教育委員会	第1委員会室 第2委員会室 第3委員会室
7日(水)	厚生委員会 観光文化経済委員会 都市建設委員会	第1委員会室 第2委員会室 第3委員会室
12月12日(月)	議会運営委員会	第2委員会室
13日(火)	本会議	議場

※日程は変更になることがあります。  
 (最新情報は市議会ホームページでご確認ください。)  
 ※議場・委員会室は市役所静岡庁舎本館にあります。

## 議員研修会

市議会では、議員の政策立案能力の一層の向上を目指して、議員研修会を実施しています。

9月9日、静岡県立大学学長 鬼頭 宏 氏を講師に迎え、「人口減少社会にどのように向き合えばよいのか?」と題した講演会を開催しました。



## 表紙の写真

「古の窓景」 萩原和幸氏(日本写真家協会会員)



撮影場所 坐漁荘(清水区興津清見寺町)

西園寺公望公が別荘として建てた坐漁荘。政界を引退しても頻りに要人が訪れたという。窓から眺めた興津の海岸にふと、一時の癒しを求めたのか、と思いを込めて撮影した。